

川尻小学校(川尻校区?)のマスコットキャラクターのお披露目会がありました。 川尻小のマスコット「ラックル君」が誕生!

河陽新聞



川尻小学校体育館での「ラックル君！」お披露目会

1月7日、川尻小体育館で川尻小学校のマスコットキャラクター「ラックル君！」のお披露目会が盛大に行われました。この「ラックル君」は、熊本市南区の地域コミュニティづくり支援補助を受けて製作され、川尻小学校や愛育会(P.T.A.)関係者の熱意と努力で誕生しました。



「ラックル君」は、2009年に当時の児童らが発案、小学校のバックネット裏にあるラクシヨウ(落羽松)の木の妖精をイメージしてデザインされたもので校内の緑を大切に守って行こうと、愛育会(P.T.A.)関係者が子供たちの愛校心を育み環境保全と豊かな地域社会づくりをめざして作られたとのこと。

お祝いにつけ「クマモン」よりひと回り大きく、全身がグリーンで「ラックル君」は、木々に包まれた川尻小学校の妖精らしく愛嬌があり子供たちから、とても親しまれています。

今後、このラックル君は、学校行事だけでなく呼びかけがあれば地域の催しにも参加する予定で、川尻を代表するマスコットとして期待されます。



熊本市南部地区市民の会 発行責任者 村田幸博

川尻小学校では明治7年に開校され、昨年140年を迎えたことを、この機関紙でも紹介しました。3月23日、141回目となった卒業式が行われ、自治会長さん達をはじめ川尻校区の各種関係者、卒業生保護者など200名以上が参列され、今年卒業生79名を加えた卒業生が1万4672名になりました。

川尻校区の第63回成人式が行われました。



成人式終了後の祝賀会カンパイ風景

1月3日は川尻校区恒例の成人式が行われています。今年で63回目を迎えたこの成人式は、まだ戦後の貧しい時代、昭和28年に始められ例年、川尻公会堂で行われてきました。川尻公会堂が対震工事中で使用できなく、今年はいわ村」で行われました。



今年の成人式の参加者は41名(卒業生数90名)。会場の様子を文字で描くと、正面向かって中心部に1町内、15町内成人男女が41名整列、右側には各町内の自治会長や民生委員の方々が顔をそろえ、左外側は、校区の各種団体代表の人々、左内側には成人者が小学校時代に関わられた恩師の方々、最前列や後列には運営や進行を司る川尻校区公民館の方々が囲まれ、狭い会場には成人者を見守る温かい雰囲気があふれていました。

今年の成人式は恩師の先生が11名も駆けつけられ、それぞれの先生方が当時の思い出話を披露されると、爆笑が起き、名指しされた当時の子供は全員からの視線が集まり、拍手喝采をあげ少年時代が蘇ります。



この63年間も続けられている川尻校区成人式は関係者の集う手づくり成人式です。呼びかけや進行は成人式を主催される関係者で進められ、主催者を代表して米沢敏二(川尻校区公民館長)から式辞が述べられ、来賓を代表され中村亮一自治会連合会会長の祝辞など続き、今年も4名の成人者から成人者としての抱負や決意や謝辞が述べられ、今も昔もかわりない20歳を迎える心境が伝わり参加者一同の心に訴えるものを感じました。



これらの写真で伝えられない雰囲気として、成人者は41名ですが、地域の方や先生方が90名以上参列されていました。また、最後方ではカメラや携帯電話を掲げ我が子を見守るお母さんたちが20名ほど陣取り、本場にローカルで手づくり感が伝わる成人式です。

本日成人を迎えることのできたのはひとえに家族先生方地域の皆様の温かい愛情指導がありました。お陰です。私どもの中には既に社会に出て働いている者もおります。置かれた状況の違いはありますが成人を迎えました。今自覚と自分の言動に責任ある社会人として歩んでいく覚悟です。しかしながらまだまだ未熟な私たちが

謝辞

本日は成人を迎えた私たちの門出に際しこのように盛大な式典を催して頂き誠にありがとうございます。新成人一同を代表して心より御礼申し上げます。またご来賓の皆様からの温かいお祝いとお励みのお言葉を頂き新成人としての喜びを噛みしめると同時に今後の責任の重大さを痛感しております。

本日成人を迎えることのできたのはひとえに家族先生方地域の皆様の温かい愛情指導がありました。お陰です。私どもの中には既に社会に出て働いている者もおります。置かれた状況の違いはありますが成人を迎えました。今自覚と自分の言動に責任ある社会人として歩んでいく覚悟です。しかしながらまだまだ未熟な私たちが



新成人代表 後藤田未来 平成二十八年一月三日

編集後記

毎年2月、3月の春を迎えようとする冬の季節、川尻小学校4年生を対象にクラス単位でバードウォッチングが続けられています。今年も2月16日から3回に分け行われ3回とも19種類の野鳥が確認されました。多い年には26種類が確認できましたので少し種類が減っているのが気になります。

小学校4年生は10歳の歳です。10年後には成人式を迎える20歳に成長します。4年生になる菊池少年自然の家で2泊のキャンプなどで地域の方々と触れ出します。

今年の成人式で「バードウォッチングの！」と言ったら、おう！と、声が湧きました。



「旅する蝶アサギマダラ」特別講演会

2015年1月に放送した「ダーウィンが来た!『日本縦断2000キロ!旅するチョウを追え』」は、長期取材により、アサギマダラの壮大な旅を追ったドキュメンタリーです。苦勞の多い取材でしたが、ディレクターの執念と、思いがけない偶然や幸運のおかげで、とても感動的なストーリーになりました。小さなチョウに秘められた、生きものの持つ無限の可能性や生きる力を感じ取って頂ければ幸いです。 菊池 哲理(さくち・てつり)



「旅する蝶アサギマダラとフジバカマ」



菊池 哲理さんの略歴

「ダーウィンが来た!生きもの新伝説」担当プロデューサー。自然番組の制作歴はおよそ20年。ディレクターとして、「生きもの地球紀行」「地球!ふしぎ大自然」「ダーウィンが来た!」をはじめ、NHKスペシャル『映像詩里山 覚えていきますかふるさとの風景』(1999年)、『映像詩里山 森と人響き合う命』(2008年)などを制作。2010年から、「ダーウィンが来た!生きもの新伝説」のプロデューサーを担当。



NHK
ダーウィンがやってくる!
10月9日に特別講演会を行いました

10月9日川尻小学校体育館で学校の授業時間に合わせ左のカラーチラシ内容でNHKのプロデューサーをお招きし講演会を行いました。

テーマは「2000km旅する蝶アサギマダラ」昨年1月にNHKテレビで放映された番組を題材に旅する蝶の謎や取材での苦勞話を盛り込み、1年生の子供にも理解できる内容をお願いしました。

冬は台湾や香港まで旅を重ね、春には九州を足がかりに、夏には日本アルプスや遠くは北海道まで移動することが伝えられました。

このNHKの人気番組「ダーウィンが来た!」は、数名のスタッフで世界各国を歩き苦勞を重ねながら頑張る姿も伝えられました。



昨年4月から実施した数多くのフジバカマの苗づくりや鉢づくり~NHKの講演会など実施出来たのは、再春館「一本の木」財団の支援を受けて行いました。

また、写真よりよりリアルに描けている蝶や植物の絵は4町内に在住のデザイナー浪崎洋子さんの協力があったからこそです。

町内外の人からも高い評価を受けました。ご協力いただきました多くの皆様方に感謝申し上げます。

西南ローターリークラブより活動支援の贈呈式が行われました。



「誘致、チョウ好む香りいかが？」

誘致、チョウ好む香りいかが?
川尻商店街連合会が香水開発
川尻商店街連合会(福山龍太郎会長)は「旅する蝶の宿る町」をイメージし川尻駅をはじめ商店街各所にコマキされたフジバカマの150鉢を置き、蝶や人の触れあふ商店街づくりに加え、左新聞記事の内容で新製品開発や販売も行われています。

3月12日ズイヨウ東肥工場玄関にて熊本西南ローターリークラブ田上安徳会長から川尻校区自治会連合会・中村亮一会長へフジバカマの鉢150鉢が贈呈され、加勢川の河原にも120株の苗が補植されました。

川尻商店街連合会(福山龍太郎会長)は「旅する蝶の宿る町」をイメージし川尻駅をはじめ商店街各所にコマキされたフジバカマの150鉢を置き、蝶や人の触れあふ商店街づくりに加え、左新聞記事の内容で新製品開発や販売も行われています。

校区の皆さんも川尻PRする名刺を作られませんか?

今回の旅する蝶シリーズは、デザイナーの浪崎洋子さんに旅する蝶のアサギマダラはじめ秋の七草のフジバカマなど数種の絵を描いて頂きました。会の名刺や封筒で使用したらとても好評で、この機関紙「河陽新聞」を通じ多くの皆さまへ下記の内容で名刺づくりを呼び掛けることにしました。

旅する蝶の宿る町
川尻校区〇〇会
川尻 太郎
TAROU KAWASHIRI
〒861-4115
熊本市南区八幡 1-1-1
☎ 090-357-9001

ご希望の方は、地域の自治会長さんや下記の連絡先へ問合せ下さい。

※【問合せ先】 熊本市南部地区市民の会 【事務局】 井上新午
〒861-4115 熊本市南区川尻5-6-50 でんわ 358-0342